

平成24年度ホタテガイ採苗情報（第8報）

平成24年6月20日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



稚貝の付着数は県北部で増加

< 調査結果の概要 >

- ラーバの出現数は、県北部、唐丹湾とも前回より減少しました。そのうち、唐丹湾の200 μ 以上の大型個体の比率は23%と低下傾向です。
- 試験採苗器の付着稚貝数は90～1,263個/袋でした。
- 唐丹湾では、付着継続も前回（227個/袋）より少なく減少傾向です。ただし、付着直後の稚貝の割合は、41%と前回（3%）より上昇しました。
- 県北部では付着が継続中であり、前回（529個/袋）よりも増加しました。
- 唐丹湾の水深10m層の水温は11.9℃と、平年並みとなっています。透明度は12m（前回14m）でした。

< 噴火湾の状況（6月8日発行函館水試ホタテガイ情報） >

- ラーバの出現は沿岸・沖合ともに順調。長期にわたり良好な採苗が期待。

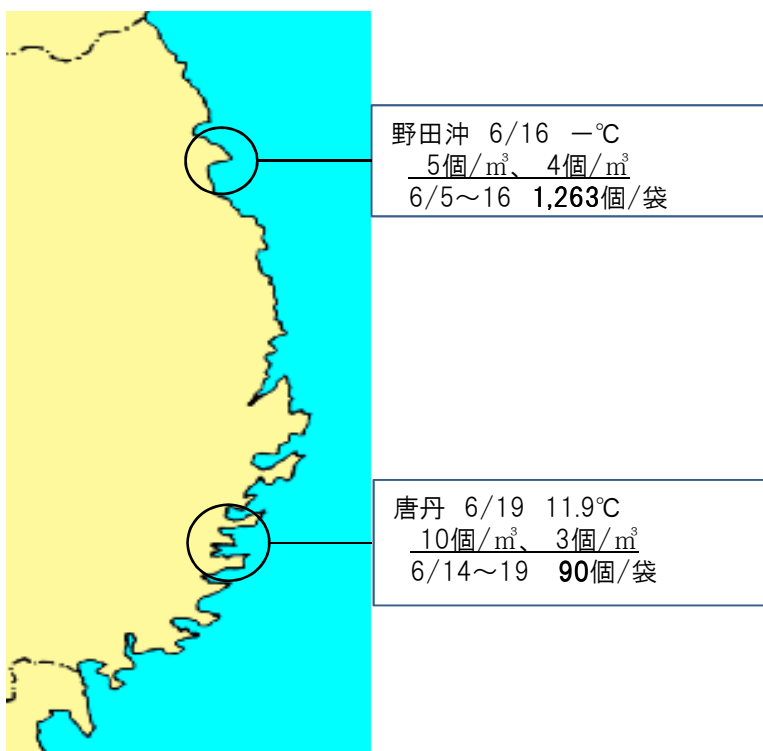


図1 各定点の調査結果

調査点 調査日 10m層水温
ラーバ出現数(200 μ 未満、200 μ 以上)
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

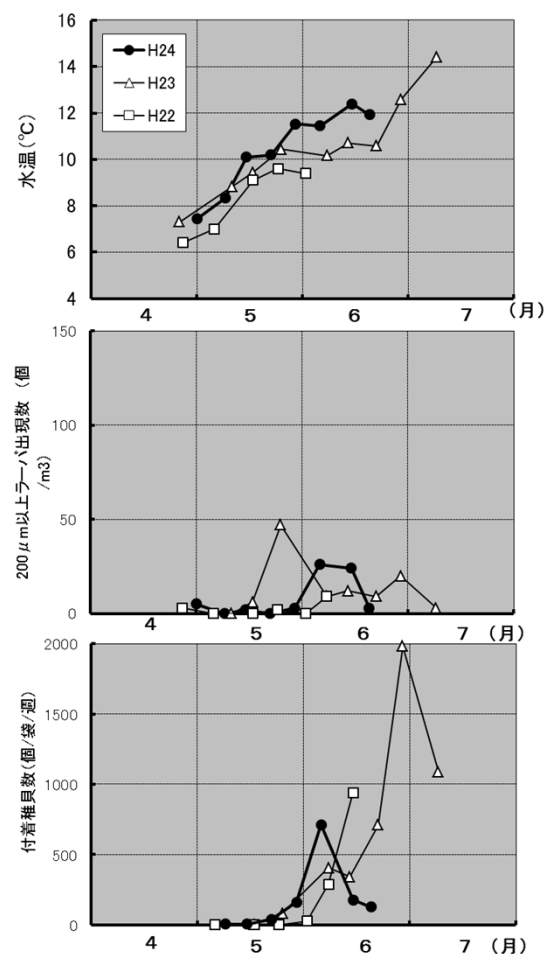


図2 唐丹湾における水深10m層
水温とラーバ・付着稚貝の出現状況

次報は、6月27日に発行する予定です。